

Cultivating Algae's Potential, for a Better Future.

藻類の研究開発で、人々と地球の未来に貢献する

株式会社アルガルバイオ
代表取締役社長 木村 周

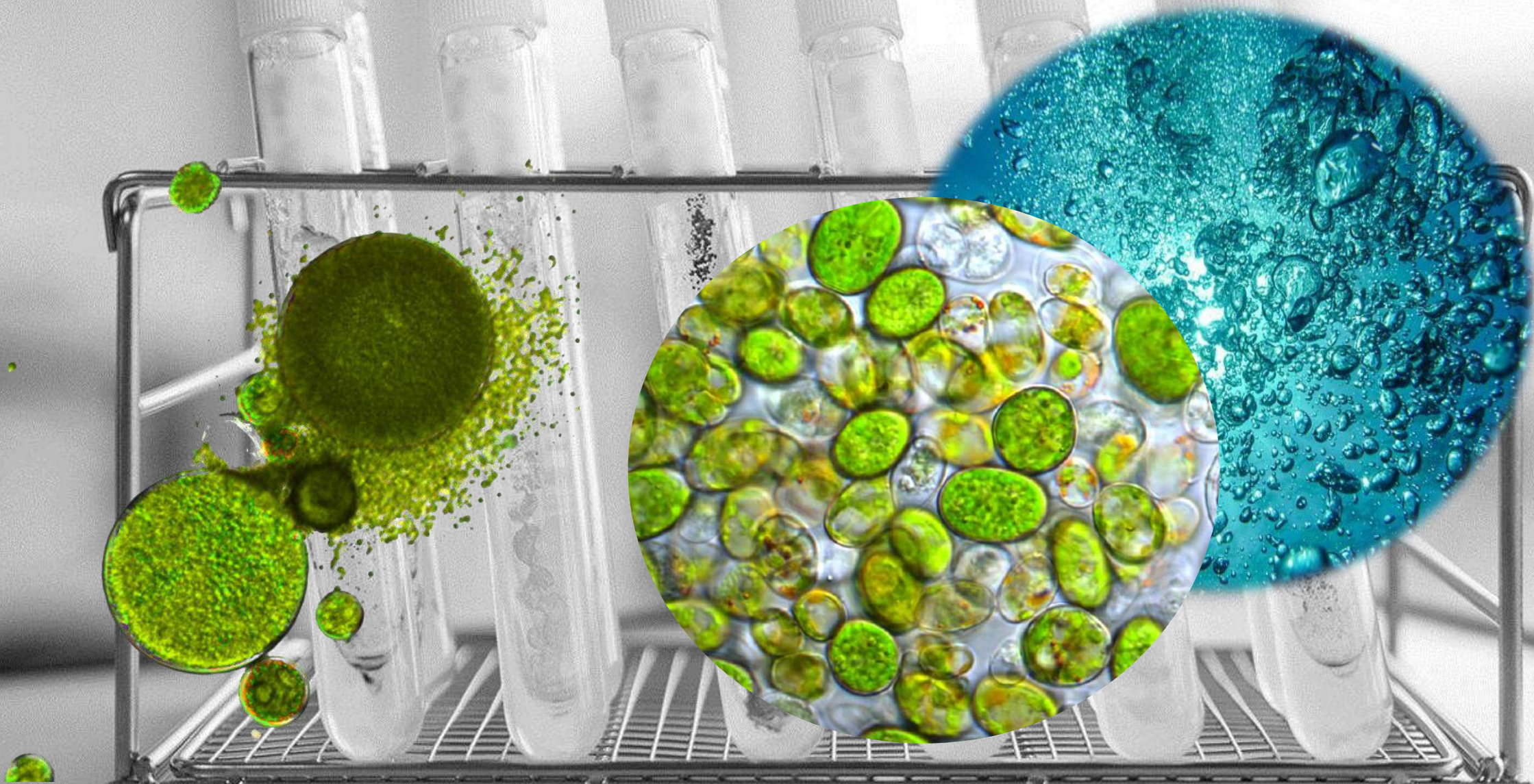


2021年7月29日 “Earth Overshoot Day”

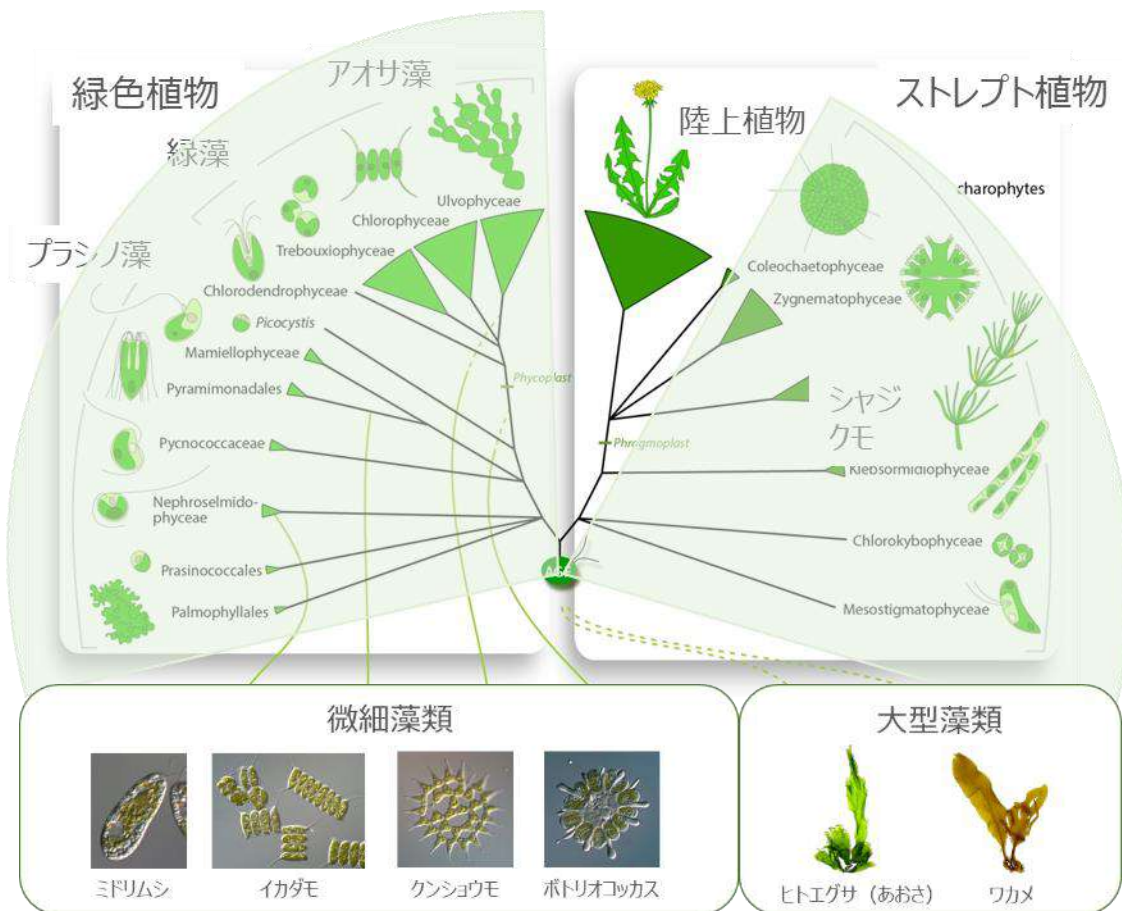
“地球が1年間に再生する生物資源”を人類がすべて使い果たした日

(国際シンクタンク「グローバル・フットプリント・ネットワーク」発表)

地球規模の課題解決を実現する鍵は「藻類」にある！



「藻類」は、未知の可能性に溢れている。



約**30**種

...

産業利用
されている
藻類種

約**30万**種

...

自然界の
藻類種

出所 : [Critical Reviews in Plant Sciences](#) 31: 1-46

藻類による社会課題の解決

人々の健康



食糧危機



循環社会



ビジネスモデルとその特徴

これまでの藻類企業：“Product-Out型”

単一種の藻類

培養製法の検討

ニーズの探索

商品開発

アルガルバイオ：「藻類プラットフォーム（“Market-In型”）」

顧客・市場ニーズ

探索・育種

培養・製造

製品化

人生100年時代
(健康領域)

食糧危機
(食糧領域)

地球温暖化
(環境領域)

1 藻類株ライブラリー
スクリーニング



2 培養製法



3 育種技術

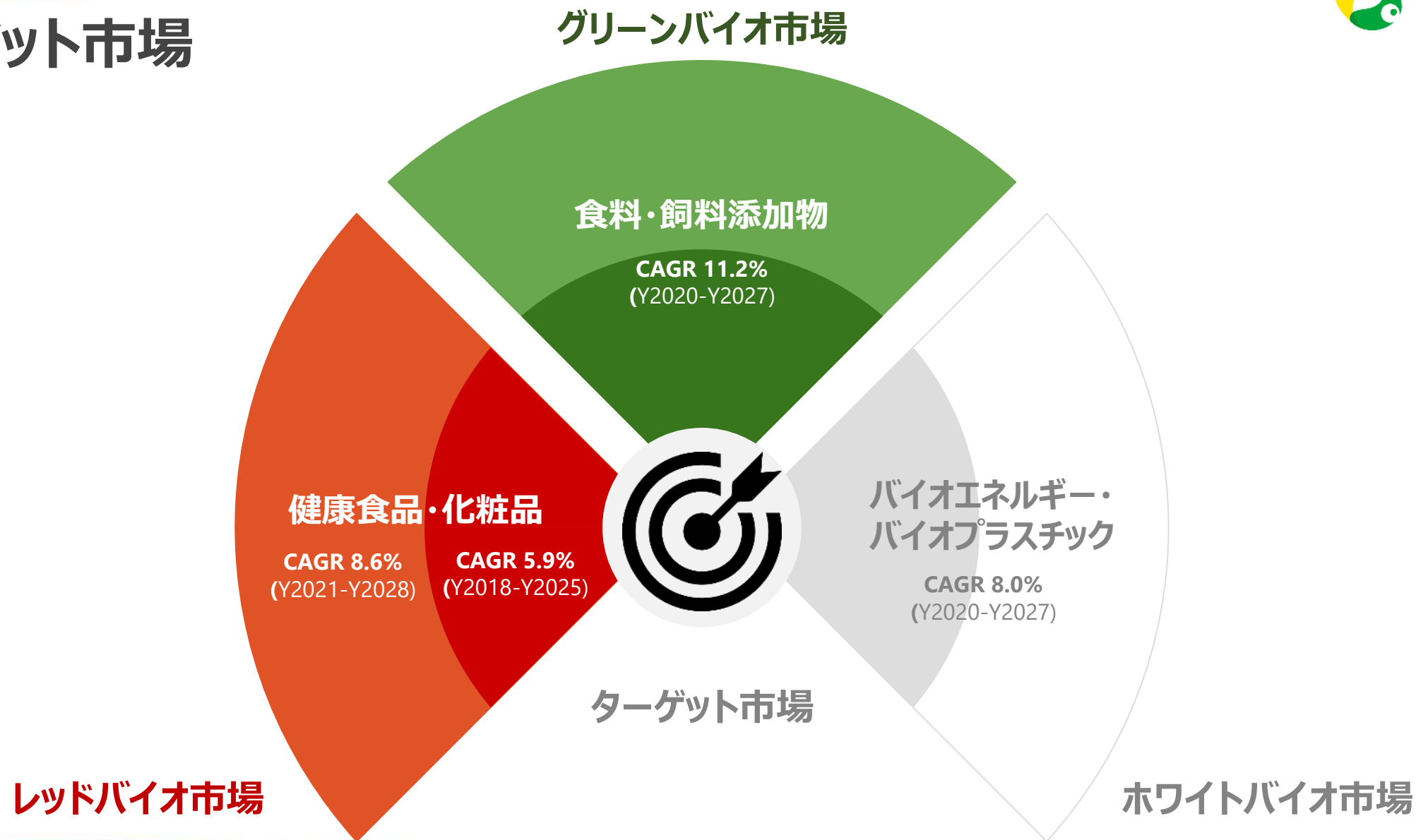


共同開発モデル
(技術パッケージ)

シナジー

自社開発モデル
(ユニークな素材の製品化)

ターゲット市場



解決したい社会課題

関連産業	健康食品・化粧品	農業・畜水産・食糧	環境・エネルギー・化成品
社会課題	人生100年時代 健康志向の高まり 	食糧危機 代替タンパク 	循環社会 サーキュラーエコノミー 
マクロ動向	「未病」領域の重要性 - ウェルネス・ウェルビーイング - パーソナライズド	- 動物性タンパク需要増と供給限界（飼料効率・環境負荷） - 食の多様化（ビーガン、フレキシタリアンなど）	- 地球温暖化 - 化石燃料代替へのニーズ（温室効果ガスの削減）
PAINS & NEEDS	- 化学合成品から天然由来品 - エビデンスに基づく機能性素材 - コスト競争力	- 天然由来の食品素材開発 - 消費者のナチュラル・健康志向への対応 - 遺伝子組換えでない方法	- 二酸化炭素の排出量抑制や環境問題の解決の方策 - 二酸化炭素の利用によるエコサイクルの実現
当社が提供する解決策	- 藻類由来の植物性食品素材の開発 - エビデンスに基づく機能性素材の開発	- 遺伝子組換えでない育種技術 - 藻類(植物)由来の代替タンパク等の素材開発	- 二酸化炭素の効率的な利用 - 藻類バイオマスを活用した有用産物の利用 - 生物分解を利用した環境浄化

アルガルバイオの技術基盤

微細藻類ライブラリー スクリーニング技術



- ・東京大学における20年以上の藻類研究資産。
- ・様々な藻類種から目的に応じた藻類をスクリーニングする。



先端育種技術 培養技術



- ・遺伝子組み換えではない育種技術による藻類の最適化を行う。
- ・培養条件を最適化する。



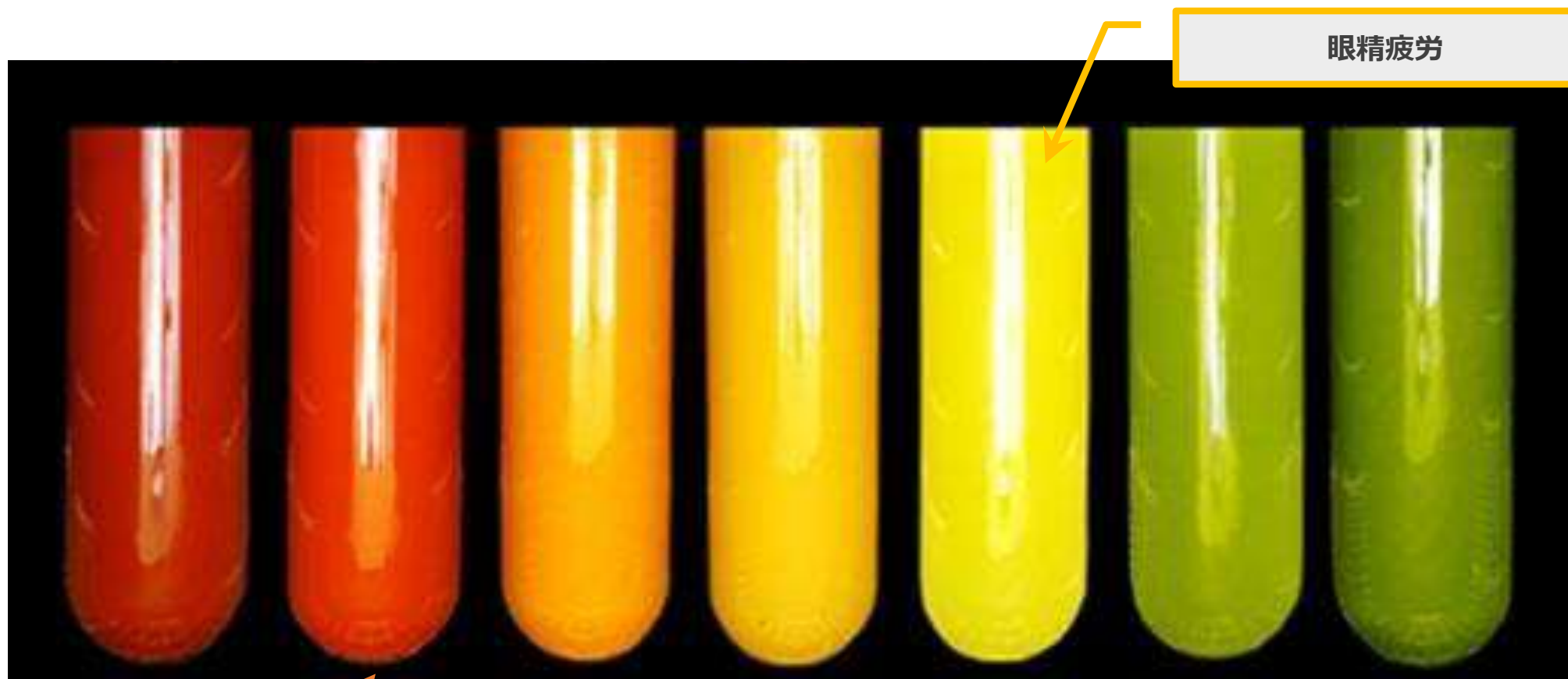
用途に合わせた 最適な藻類株



- ・マーケットニーズに対応した藻類株を提供する。
- ・使用用途に合わせた最適な藻類株を提供する。

アルガルバイオの独自性

株や培養条件を最適化することで、様々な機能性を獲得



眼精疲労

抗酸化作用

藻類プラットフォーム



経営チーム



2020年8月入社
代表取締役社長 CEO
木村 周

一橋大学 商学部卒
三井物産株式会社にて主に「食と農」「健康」領域での事業投資・経営に携わる。直近4年間は米国にて代替タンパクベンチャー Beyond Meat出資（取締役会オブザーバー）など海外事業経験も豊富。



2019年8月入社
取締役 CRO・CTO
安井 強

信州大学大学院 修士（工学）
早稲田大学大学院(MBA)
出光興産株式会社にて研究開発・新規事業開発・イノベーション領域の要職歴任。アグリバイオ分野で出資先の社外取締役も経験。当社の事業開発を担う。



ファウンダー
取締役 CSO
竹下 毅

東京大学大学院 博士（生命科学）
東京大学特任研究員を経て、2018年3月に株式会社アルガルバイオ創業。

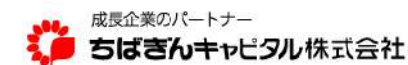
投資家



取締役（社外）
井出啓介
スタンフォード大学工学部半導体製造装置エンジニアを経験後、米経営コンサルタントMcKenna社に勤務。その後、ファブレス半導体ベンチャーにて海外事業開発ディレクターを経てGlobis Capital Partnersにて8年間Deep Tech投資に従事。2015年よりUTECに参画。



2021年5月就任
監査役
片田江舞子
東京大学大学院 博士（理学）
2005年よりUTEC参画。バイオテック、ヘルスケア領域を中心に投資業務を担当。ペプチドリーム(株)監査役等を歴任。2013年日経ビジネス誌「次代を創る100人」、2014年日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー準大賞受賞。



Cultivating Algae's Potential for a Better Future

藻類の研究開発で、人々と地球の未来に貢献する





Contact Info :

Email : info@algalbio.co.jp

Web : <https://algalbio.co.jp/>

